

アイヌ文化を体現する資料館

屈斜路コタンアイヌ民族資料館の建物と意匠には、アイヌ文化の歴史と精神と伝説が体現されています。

建物の中には 23 本の木柱があり、これらはヌササン（祭壇。アイヌの家屋の外に設けられる聖なる祈りの場）を表しています。これらの柱は、村の周りの森と山々の象徴でもあります。これらの柱の中にあるスピーカーからは、音楽を伴うアイヌの叙事詩（ユーカラ）の響きが聞こえてきます。熊の魂をカムイ（神々）の世界に還す儀式であるイオマンテのライドショー（10 分間）の観覧については、お声がけください。このライドショーは、資料館の壁で上映されます。

資料館の外にある、屈斜路湖の近くの広場では、アイヌが小熊を飼うのに使った檻（エペレセツ）とヌササンを見ることができます。